

8月4日の誕生日

from Zimbabwe ジンバブエ



首都ハラレから乗り合いタクシーで20分ほどのマササ地区にある僕の家の隣人、タフィ君。「今日で3歳になったよ」とうれしそうに話す。ジンバブエに来る前、僕はアフリカの人は自分の誕生日を知らないと聞いていた。出生率が高いがHIV／エイズなどで死んでしまう子が多く、親が子どもの誕生日を覚えきれないからだ。

しかし、みんながそうではなかった。誕生日にはスーツを着て、ケーキやジュースで祝う。そして、大好きなライスとオーブンで焼いたチキンを食べる。この日は、近所の子どもたちも大集合。10人くらいがやって来た。タフィ君は、早くケーキが食べたくて、誕生日会が始まる前にナイフに付いた生クリームをなめてしまった。その瞬間の目は強く何かを訴えてくる。最後は生クリームだらけの服でダンスを踊ったね。

撮影：小松洋（ジンバブエノ青年海外協力隊）



あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や開発途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

応募条件 ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上(目安)で撮影されていること、また画像の記録形式はJPEGを推奨します。

応募方法 お名前、連絡先(電話番号とEmail)、エピソード(300～350字)、記名の可否をご記入の上、写真とともに応募先アドレスまでEmailでお送りください。
*応募作品は本コーナーのほかに、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。ご記入いただいた個人情報はこちら以外の目的では使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。